

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ファイン		
○保護者評価実施期間	R7年 1月 8日		～ R7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	R6年 12月 8日		～ R7年 1月 19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 2月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○活気のある職場。	職員間の細やかな情報共有と役割を調整し現場の状況変化に対して即座にフォロー出来るようにしています。	保護者様のニーズや学校での取り組みを共有させていただき日々の支援により反映させていきたいと思っています。
2	○活動プログラムの充実。	活動プログラムは職員全員で話し合っ決めていきます。またお子様からの希望や保護者様からの希望などを勘案して決定していきます。その中でお子様は自由時間の間に学校からの宿題や事業所からの課題にも取り組んでいます。	今後も支援者側が一方向的に提供するものではなく、お子様たちを運営の主体として巻き込めたいと思っています。
3	○研修や訓練の実施。	法改正に合わせて年間研修計画を策定しています。毎月の全体会議ではカンファレンスの他研修や訓練、定期的に委員会による話し合いや報告が行われます。	外部研修には児発管が参加していますが、勉強会やテーマによっては様々な支援員が参加できるようなたらきかけをおこなっていききたいと思います。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○児童クラブや地域住民との交流の少なさ。	近隣の児童クラブや地域住民との交流機会が乏しく、社会参加や地域の中での育ちを支援するのが不十分です。	地域のお祭りや清掃活動への参加などを検討しています。児童クラブとは情報交換を行い、まずは支援者レベルでの顔の見える関係性を築きたいと思っています。長期休みには児童クラブへのお迎えもあるので活用して行きたいと思っています。
2	○ペアレントトレーニングの実施について。	保護者様への支援が個別の面談や相談に留まっており、特性への理解を深め、家庭での関わり方を学ぶペアレントトレーニング等の具体的な支援機会を提供出来ていない。	職員の研修参加を促し、ペアレントトレーニングの基礎知識や実施手法を習得します。まずは小規模な勉強会や事業所で行っている茶話会の延長として実施を検討したいと思います。
3	○支援室の環境。	建物の老朽化が進んでおり、床の傷みや壁紙の破損などがみられるようになってきました。子どもたちが安全かつ快適に過ごす環境として課題があります。	日常的な点検を強化し、破損箇所は速やかに修繕して安全を確保します。DIYなどで工夫して環境を整えたいと思います。